

# エリアウェーブ

峡東教育事務所

地域教育支援スタッフ

TEL 0553-20-2731

FAX 0553-20-2733

◎回覧・配付をお願いします。増し刷り配付はご自由どうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>

◎ご意見・ご感想、情報提供はこちらまで。Email: [aruga-asvk@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:aruga-asvk@pref.yamanashi.lg.jp)

## 子どもの学力向上のために親は？

「PISA 国際学力調査での日本の順位は？」「全国学力調査での山梨県の結果は？」など、子どもの学力に関する話題が様々な場面で取り上げられています。山梨県教育委員会が策定した『新やまなしの教育振興プラン』においても、「社会を生き抜く力」「自立する力」「豊かな心」と並んで「確かな学力」の育成を基本方針の一つとしています。また、それを受けて各市においては、「学力向上」のために様々な取組を展開しています。

では、家庭においては、子どもの学力を伸ばすために親はどんなことができるでしょうか？

アメリカのある研究グループによると、子どもの学力向上に有効なのは、「親が学校に関心を持っていることを子どもに伝えること」だそうです。そうすることで子どもに対して学校教育の大切さを伝えることが重要なのだそうです。例えば、子どもの学校での生活や学校行事について話題にしたり、PTA活動に参加してその様子や感想について子どもと話しをすることなどが考えられますが、そうすることで、成績の向上の他、出席率が向上する、モチベーションが上がる、問題行動が減少するといった効果がみられたそうです。

### 【勉強はリビングで？ 親が宿題を見てはダメ？】

あるテレビ番組のなかで、「家庭学習はリビングで勉強するのが効果的」という趣旨の話しか紹介されていました。賛否両論があるとは思いますが、リビングでの勉強の場合は、親が見ているので「勉強しているふりしてゲームを」などということはありませんし、わからないところを気軽に聞くこともできます。苦手分野など子どもの学習状況が把握しやすいということもあるでしょう。ところが一方で「親が一生懸命に宿題を見てやっているのに、子どもの成績は全然向上しない」という声も少なからず耳にします。前述のアメリカの研究グループは「親による宿題ヘルプは子どもの成績向上には必ずしも有効ではない」という研究結果を発表しています。

一見矛盾するような見解ですが、要は子どもの学習に関わる時の「親の姿勢」の違いなのではないでしょうか。子どものペンの動きまで親がじっと見つめて、ペンが止まると「どうしたの？」「どこがわからないの？」「どうしてわからないの？」……これでは子どもは萎縮してしまい、「楽しく勉強」とはいかなくなります。多少まどろっこしいと感じても、ちょっと気長に見守ってあげることが大切なのでしょう。また、最後まで教えてしまわないで子どもに考えさせる部分をつくることで、「できた！解けた！」という達成感を得られるようにしてあげると、親と一緒に勉強することが楽しくなるのだと思います。

### 【家族の会話が学力を伸ばす？】

子どもの学力を伸ばすには、家族との対話が不可欠だともいわれています。そのためには父親も定時に会社を出て家庭に帰って、夕食を囲む家族団らんのひとときを週に一回でも取り戻すことが必要だと説く研究者もいます。そうはいっても、毎日家族そろって夕食を囲むことは難しいでしょう。夕食を一緒にというのが難しいければ、朝食時に一緒にテーブルについて会話しながら食事するのはいかがでしょうか。学校での出来事など子どもの話を聞いてあげたり、朝刊の記事などを話題にしながら朝のひとときを家族皆で過ごすことは、きっと子どもたちの学ぶ意欲や興味づくりにより影響を与えることと思います。また規則正しい生活習慣にもつながるのではないかともあります。とすればやはり「早寝・早起き・朝ごはん」運動は子どもの学力向上のためにもとても意味のある運動であるといえるのではないのでしょうか。

参考：バース・亀山静子「保護者の教育への参加で学力は上がる？」(『教育ジャーナル』2014年11月号 学研教育みらい)

清水克彦『頭のいい子が育つVの習い』(PHP研究所 2007)

テレビ東京「ザ・逆流リサーチーズ 東大生の子供時代に逆流スペシャル」

# 保幼小連携教育研究発表会

山梨県教育委員会義務教育課

平成26年11月4日（火）に県総合教育センターにおいて、平成26年度保幼小連携研究発表会が行われ、峡東地区からは連携研究指定校である奥野田小学校と奥野田保育園が一年間の連携の実践事例について発表しました。

その後、地区別にグループに分かれて保幼小連携の状況や課題点について意見交換を行い、再度全体会においてグループの討議内容を発表しました。最後に助言者から講評と連携・接続の課題についてアドバイスを受けました。



県教育委員会あいさつ



奥野田小・保育園の発表



地区別のグループ討議



# 篠笛発表会

NPO法人 学びの広場ふえふき

学びの広場ふえふきでは、11月26日（土）に笛吹市内の介護老人福祉施設「壽の家」において、入居者約60名の前で篠笛発表会を行いました。笛吹市内の小中学生（石和西小・石和南小・石和東小・御坂西小・石和中・御坂中）12名が参加して12曲を演奏しました。まだ習い始めたばかりの初心者の一生懸命な演奏から、二重奏を含めた上級者による演奏まで、子どもたちの心のこもった演奏に入居者は熱心に聞き入り、拍手や声援を送っていました。曲の合間には篠笛指導者の市川先生が演奏曲についての解説をしました。また、後半は、子どもたちと入居者たちが一緒に歌って交流を深めました。



曾根理事長のあいさつ



篠笛を演奏する子どもたち

# しめ飾りづくり教室

東山梨地区社会教育の会

平成26年12月20日（土）に塩山南小学校の会議室で、東山梨地区社会教育の会主催のしめ飾りづくり教室が開催され、塩山南小学校の親子12組が参加しました。東山梨地区社会教育の会では、毎年東山梨学区を順番に回ってしめ飾りづくり教室を開催しており、今回で6回目となります。最初に雨宮会長より「しめ飾り」のいわれなどについての説明をしていただいた後、講師の古明地先生から作り方の指導を受けて、しめ飾りづくりに挑戦しました。作業には社会教育主事の先生方も加わって丁寧な指導をしてくれたので、悪戦苦闘をしながらも見事なしめ飾りをつくり上げることができました。



# 産技祭

## 山梨県立産業技術短期大学校

平成26年11月1日(土)山梨県立産業短期大学校塩山キャンパスにおいて、第16回「産技祭」が開催されました。模擬店や野菜の販売等が行われ、多くの地域の皆さんも参加されました。

本年度も、小学生を対象にしたものづくり体験塾が開催され、多くの親子が参加しました。キーホルダーの作成では、コンピュータで作成した立体データをもとに3Dプリンターを使用してキーホルダーを作成しました。日本の伝統文化の体験では、動く折り紙の作成と餅つき体験をおこなって楽しい一日を過ごしました。



学校長あいさつ



折り紙づくり



パソコンで入力をする様子



## 山梨ことぶき勸学院学生募集

### 平成27年度学生募集のお知らせ

いくつになっても学ぶ幸せを実感できる『幸福社会』の実現をめざして、山梨ことぶき勸学院では平成27年度の学生を募集します。ことぶき勸学院で学んで、新たな生きがいを見つけ、新たな縁・絆を築いて、「生涯現役」を実践しませんか。

募集要項 : 各市教育委員会または下記の出願先にあります。(山梨県のHPからもダウンロードできます)

出願期間 : 平成27年2月2日(月)～ 3月6日(金) 土日祝日を除いて午前9時～午後4時

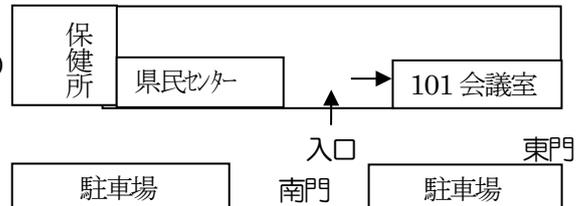
出願先・問合せ : 山梨ことぶき勸学院 甲府市東光寺 2-25-1 電話 055-233-6947  
峡東教育事務所(東山梨合同庁舎) 甲州市塩山上塩後 1239-1 電話 0553-20-2731

## 山梨ことぶき勸学院 見学・体験会

山梨ことぶき勸学院峡東教室では、実際の講義を見学・体験していただく機会を設けました。

上記問合せ先にお申込みの上、会場までお越しください。

- 日時 平成27年2月 6日(金) 9:30～12:00  
2月20日(金) 9:30～12:00
- 会場 東山梨合同庁舎 101会議室  
合同庁舎駐車場南側に駐車してください



## 餅つき大会

### 八代育美会

### 八代・境川身体障害者福祉会

年末の12月25日(木)に、笛吹市八代福祉センター南側駐車場において、「障害者地域交流事業・ふれあいの集い」が開催されました。この事業は、笛吹市社会福祉協議会、障害者地域活動支援センター「八代育美会」、八和会(八代町在住の現職退職教職員の会)の共催で行なわれました。「八代育美会」に通所している方々、地域の障がいをお持ちの方々、ボランティアのみなさん、地元の小学生、教員など約300人以上が参加しました。当日は晴天に恵まれた穏やかな日となりました。餅つきを始め、輪投げ、グラウンドゴルフ、抽選会なども行なわれ、ふれあいの日として交流を深めました。つきたてのお餅を食べて、お腹も心も満足した一日となりました。



餅つきの様子



輪投げ



お雑煮に舌鼓

# 日川高等学校

# H26

本校は今年度、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）の3年目となります。また、英国語学研修のプログラムもあり、理数教育にも国際理解教育にも適した環境が整っています。

## 20回目の 英国語学研修

本校は、イギリスにあるキャサリン・パークレーズ・スクール（KLB校）と姉妹提携をしています。1998年以来、3月の英国語学研修と10月のKLB来校という相互交流を毎年おこなっています。語学研修では、KLBで学校生活を体験することができ、KLBの生徒の家庭でホームステイをおこなうことで、イギリスの生活文化を体験することができます。



本校は部活動も盛んです。昨年夏の野球部の甲子園大会出場に続いて、本年度も多くの方が全国や関東の大舞台で活躍しています。

### ウエイトリフティング部 全国制覇

平成26年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）が南関東4県で開催されました。なかでも山梨市民会館を会場に行われたウエイトリフティング競技では本校が14年ぶり6回目となる総合優勝を果たしました。地元開催の声援に応えるパフォーマンスでした。



### 吹奏楽部 西関東銀賞

9月6日に西関東吹奏楽コンクールが山梨県コラニー文化ホールにて開催されました。山梨県を1位で通過した本校は2年連続となる「高等学校A部門銀賞」を獲得しました。